

『1冊の本が与えてくれる幸せ』

石井 達也

～自分の小さな行動が世界を変える～

『毎日を楽しく過ごせるようになった長期投資との出会い』

皆さん覚えていらっしゃるでしょうか？ 昨年の『インベストライフ』6月号で『夢を与えてくれた長期投資』という原稿を書かせていただいた工場の交代勤務に従事する石井達也です。

あれから一年以上になりますが、以前にも増して毎日を楽しく一生懸命過ごしています。本当に自分の想いを読んでくださった皆さまにお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

原稿が掲載されてから、そのあと自分なりに考えたことがとてもおもしろい結果につながりましたので、引き続き今回も『インベストライフ』の岡本和久さんにお話をさせていただき、この想いを書かせていただくことになりました。

自分が経験したことは、投資のテクニク的なことではありません。しかし、長期投資という意味における根幹の部分で重なるところが大きくあるのではないかと考えています。そしてこの話が皆さんにとって少しでもお役に立てばと思っています。

『竹田和平さんから学んだこと』

たまたま私は、日本一の個人長期投資家である竹田和平さんからお話を聞く機会がありました。そして竹田和平さんがご自身と同じ誕生日に生まれた赤ちゃんに対して、金メダルをプレゼントしていることを伺いました。その理由をお尋ねすると

「生まれてきた子が将来、自分は生まれてきたときから運が良かったんだなあ。と思ってくれたらそれだけでいいんだよ」

と答えてくださいました。

ただそれだけの理由で、一枚何万円もする金メダルを知らない赤ちゃんにプレゼントしているのです。本当に驚きましたが、また素晴らしいことだなあとも感動しました。しかし竹田さんはこう言葉を続けました。

『自分よりお金持ちの人はたくさんいるんだけど、こういうお金の使い方をする人は少ないんだよね』と。

私は竹田さんとお話しさせていただいた帰りに、自分も金メダルをプレゼントすることはできないのだろうか？と考えてみました。でも自分が一枚何万円もする金メダルを何枚もプレゼントすることになると、自分の生活ができなくなってしまいます。『どうしたらいいんだろう？』と悩みました。

そしてその想いを友人に打ち明けたところ『自分のできる範囲で考えてみたらいいんじゃない？』との返事をもらい『そうだ！自分は竹田和平さんではないのだから、自分のできるレベルで始めればいいんだ！』と改めて考えることにしたのです。

私は本当に長期投資を通じて知り合ったさまざまな素晴らしい人のおかげで、人生が大きく楽しいものになりました。私に長期投資の素晴らしさを教えてくれた澤上篤人さんから『もっとたくさん勉強して、いろんな経験をしたらもっと人生は楽しくなるぞ！だから「本」をたくさん読んで勉強したらいいぞ』といわれ、以来この2～3年の間に500冊近い本を読みました。

素晴らしい人との出会いと同様に、素晴らしい本との出会いもまた自分の人生を豊かにしてくれていると、いま振り返ってみてそう思います。ランチ1食分ほどの値段で、人生が大きく変わるようなものが他にはないと思っています。

『「本」を人に贈ることで幸せの輪が広がっていく』

「そうだ！本を人にプレゼントしてみたらどうだろうか？本だったら、それほどの金額じゃないから自分でもプレゼントしていける」

ランチ1食分の費用であれば自分に大きな負担はかからないし、いろんな人に喜んでもらえたら本当にうれしいなと思いました。私は今までに本の数回ですが本をプレゼントしたことはありません。

その時を思い起こして『月に最低1冊の本を人にプレゼントしよう！そしてこれを一生続けていこう！』と決心したのです。

そして思い立ったら、即行動に移しました。私がいつもお世話になっているバーのオーナーに自分が読んでみておもしろかった『夢を叶えるゾウ』という本をプレゼントしたのです。

別に、特別な日でも何でもない普通の日の本をプレゼントされたオーナーはすごくびっくりしていました。しかし自分の考えを話すと、オーナーはすごくそのことに対して喜んでくれました。

私の行動に対し、相手がものすごく喜んでくれることだけで幸せな気分になれます。相手が笑顔になってくれることで、自分もうれしい気持ちになれるなら、これをずっと続けていきたいと思いました。

そう思った矢先に不思議なことが起こったのです。バーのオーナーに本をプレゼントした日、家に帰ったら1通のメールが届きました。数か月ぶりの福岡の大学生からのメールで、最近の暮らしぶりについてや、驚いたことに『最近何か本を読まれていますか？』と書いてあるのです。私は『最近脳についての本を読んでいるよ』と、返信しました。すると彼は医学生ということもあって、オススメの本を私に紹介してくれました。『ありがとう！明日にでも買いに行くよ』とお礼のメールをしたのですが、次の瞬間『もうその本はプレゼントするんで、石井さんに送りましたよ』との返事がきたのです。これにはもう、本当に驚いてしまいました！

私が人に本をプレゼントしようと思い立って、バーのオーナーに贈ったばかりだったわけです。現金な話をすれば、人にプレゼントする本を買ったことで、その分のお金を自分は失ったわけです。それなのに逆にほかの人から本をプレゼントされていたのです。金額を鑑みないとプラスマイナスゼロ。

それから3日後、本が手元に届きました。そしてそこでまた驚かされたのです。届いた本は2冊だったのです！他人に対して、私はまだ1冊の本しかプレゼントしていません。もちろん、何の見返りも求めていません。それなのに、本が1冊ではなく2冊もプレゼントされていたのです。

。いま思っても、ものすごく不思議な経験です。

そして今、人に本をプレゼントする活動を始めて一年もたっていないのですが、そこからさらにさまざまなことが広がっていきました！私が本を贈った方々から『自分も本をプレゼントするようにしたんです』との声をいただいたのです。

相手を想って本を選び、贈った本に対して相手が喜んでくれたなら、本当にこれほど嬉しいことはありません。私のこの想いが、その人の手によってさらに広がっていき、それを自分が見届けられるという、こんな幸せなことはないと思います。

“因果応報”という言葉がありますが、プレゼントする相手がいなければ意味はありません。幸いなことに私には、本当に幸せになってもらいたいなあと思える人たちに囲まれていることが、とても幸せなことだとも思っています。

たった1冊の本で人に与える喜びや感動がいろんな人に広がっていく。それは無限の可能性を秘めていて、長期投資や世界観というものの考え方につながっているように思えてなりません。

「自分の小さな行動が世界を変える」

こういった考え方が、自分が長期投資を大好きな要因なのかもしれません。まだまだお話ししたいことがありますし、この話の続きもあるのですが(笑)またいずれ機会がありましたら、皆さんに楽しくお話をさせていただければと思います。ありがとうございました。